

本日は、PTA 総会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。

爽やかな 5 月となりました。北信総合体育大会も終わり、来週からテスト、その後は県総体、クラスマッチ、篠竹祭の準備と一年で最も活気のある時期を迎えます。

新聞報道等で御存じのとおり、北信地区大会から破竹の勢いを示した野球部が、過日の北信越高校野球春季長野県大会で勝利し、29 年ぶりに選手権大会のシード権を獲得しました。大変喜ばしい事であり、皆様の温かいご声援に感謝申し上げます。

さて、教育界では、現在「高校・大学接続改革」が進行しています。長野県においても「学びの改革」基本構想が示されました。質のいいものを大量生産し、できるだけ安く大量供給すれば価値が生まれた時代から、そこにアイデアやイノベーションといったものを加えないと価値が生まれない時代を迎え、従来の教育ではいよいよ適応できなくなってきたからです。変化に適応し、変化を創造する 21 世紀型学力が喫緊の教育課題となっており、大学入試では、高校での主体的な取り組みと実績といった、受験生の履歴を評価する比重を高めていく方向が示されています。文部科学省は、主体性を持って前向きに、他者との繋がりの中で協働する活動を通して身につけた、思考力・判断力・表現力を評価する大学入試に変えていくと述べています。

特に 1，2 年生は大学入試改革の過渡期の影響を受けます。これをチャンスと捉え、まずは、高校の勉強の全てを一生懸命やる。友人と共に生徒会やクラブ活動に正面から取り組む。その繰り返しだが、自分を成長させる根っこの部分だということを忘れないでほしいと思っています。

また、高校の 3 年間は、心身共に大人に変わる時期であり、自分の将来を考える大変重要な時期です。将来どの道に進んだらいいのだろうか、適性は何だろうか、家族との関係、経済力等を含めた環境の中で、自分はどうすればいいのか悩み多き時期でもあります。まずは本人の話、考え方をよく聞き、ご家庭でできることできないことを十分話し合ってくださいと思います。

そして担任と十分な話し合いをし、本人の進路実現に向かって同じ思いで支援をしていくことが大切です。どんな些細なことでも結構ですので、学校にご相談をお寄せ下さい。

私自身も、情報の発信が大切な仕事の一つだと考えています。

HPの校長挨拶に、生徒への講話等も掲載しています。また、校長ブログで生徒達の日常を紹介してまいりますので、ご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、本校PTAの運営にあたっては、役員の皆様に大変なご苦勞をいただいています。特に小林会長様 山田副会長様には生徒の卒業後もPTA活動に関わっていただきまして本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

これから各担当からのお話をさせていただきます。学年での懇談も計画されています。有意義な一日になることを願い、私の挨拶といたします。